GAKU通信 Vol 41

東京都議会議員（荒川区選出）

たきぐち学（がく）

ホームページ、フェイスブックページで活動報告中！

たきぐち学　検索

厚生委員会で事務事業に関して質疑！

11/1 病院経営本部

大きく2つのテーマで質疑を行いました。

① セーフティネットとしての機能を果たしながら今後の在り方検討を！

都内には、8つの都立病院があり、一般医療機関では対応が困難な医療等を「行政的医療」と位置づけ、都民に提供しています。採算性の低い医療もあるため、一般会計から毎年約400億円の繰り入れを行っています。

今年3月に「都立病院新改革実行プラン2018」が策定されましたが、良質な医療を継続的に提供していくための経営改善、経営効率化の引き続きの取り組みを求めました。また、公立病院として担うべき役割、セーフティネットとしての機能を持続的かつ安定的に果たせることを前提条件としつつ、医療ニーズや医療環境の変化に即応できる経営形態への転換を求められており、都立病院経営委員会の提言や先行して経営形態の見直しを実施した自治体病院の分析のもとに今後の在り方を検討していくよう要望しました。

② 総合診療医の育成を！

高齢化にともない、疾病構造は変化しており、合併症の患者や複数の疾患を抱える患者が増加しています。地域医療という観点からも「総合診療医」の必要性が高まっており、都の取り組みを質しました。平成30年度から東京医師アカデミーにおいて、総合診療専門医の研修コースを設置したとの答弁。その育成に期待します。

11/22 福祉保健局

児童虐待および児童相談所の特別区での開設について質疑を行いました。

荒川区では再来年の4月に児童相談所を開設する計画で、荒川区を含む3区（荒川、世田谷、江戸川）が先行し、翌年度に5区さらにその翌年度に2区で開設の予定が発表されています。練馬区以外の全22区が独自に開設する意向を示しています。

今年3月に目黒区で発生した5歳女の子の虐待による死亡事件に対する東京都児童福祉審議会の検証部会の報告書が発表されましたが、二度と同様の事件を起こさせないようにするための体制構築を急がなければなりません。

- **児童相談所と子ども家庭支援センターという二元体制によって生じる課題の解消**
- **児童福祉司、児童心理司など配置基準より不足している中、児相のＯＢや経験者の採用**
- **都児相と区児相の引継ぎの徹底。開設時における人材の充分な配置**
- **里親のリクルート・研修・支援（フォスタリング業務）の広域的な連携**
- **子の保護と親の支援、介入と支援の機能を分ける「児相機能分化」の検討**

などを求めました。

発行：たきぐち学後援会（学集会）　〒116-0014 荒川区東日暮里4-20-7　Mail:　info@t-gaku.com

活動レポート Vol 5

無所属・あらかわ ゆいの会

花沢（はなざわ）あきのぶ

28歳の挑戦！！

花沢あきのぶ　検索

今月のあらかわNEWS

「人事委員会の職員給与マイナス勧告に特別区長会は従わず、これに対して荒川区も職員給与据え置きへ」

特別区の人事委員会は、2018年度の東京23区の職員月給を、過去最大となる平均9671円（2．46%）下げ、特別給を0．1ヶ月引き下げるよう各区に勧告しておりました。

これに対して11月22日、東京23区の区長からなる特別区長会は、職員給与を据え置くことを労働組合と妥結しました。この職員給与マイナス勧告は、4月の人事制度改革に伴い、比較する民間企業の同じ職層の給与を大幅に上回ったためとされています。

荒川区は、11月30日に行われた荒川区議会総務企画委員会において、職員課長の答弁より区長会の勧告未実施を支持するとの立場が明らかになりました。1982年には、財政難を理由としたプラス勧告を実施しなかった例もありましたが、マイナス勧告に従わないのは今回が初めてとなります。

今年度より実施の人事制度改革によって、いままで8層制であった職層が6層制となり、1級と2級、6級と7級がそれぞれ統合されています。2級であったものは、主任職として残るものと統合された新1級へ降級するものとに分かれますが、降級による減給はなされません。このため、新1級の平均給与は旧1級の平均給与より上昇するに至っています。公務員の職層が変動したにも関わらず、比較対象である民間企業の職層はそのままであるため、公民格差が生じているものとみられます。

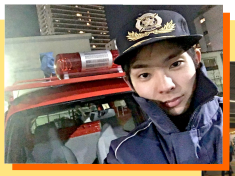
その他職員給与を据え置くことの主な理由として、区側は、①制度改正の円滑な実施に重大な支障が生じる恐れがあること、②民間や国、他団体において給与水準の引き上げが見込まれる中で、人材の確保が厳しくなる恐れがあること、③現在の特別区の給与水準は国の給与水準に概ね均衡した状況にあること、などをあげています。

私は、職員給与を引き下げることよりも、有為な人材を確保し、職員の方のモチベーションを保っていただいて、しっかりと仕事をしていただきたいと考えますが、区民の皆様はいかがでしょうか。

プロフィール

平成2年/1990年10月5日生まれ。荒川区南千住出身。

学生時代、議員インターンシップを経験したことがきっかけで、
政治に関心を持ち、地元荒川区で政治家として活躍することを決意。
現在は、社会起業家として、区内を中心に学習支援事業を行う。
また、平成27年度より実施の荒川区助成事業「子どもの居場所づくり事業」運営に携わる。
行政委員３年目の経験を活かし、区民の声をカタチにすべく政治活動中！



■荒川区立第二瑞光小学校　■荒川区立南千住第二中学校　■都立足立新田高校　■中央大学法学部　■荒川コミュニティカレッジ第５期
□特定非営利活動法人Campus代表理事　□荒川区スポーツ推進委員　□荒川区青少年育成南千住地区委員　□荒川消防団第二分団　団員

花沢あきのぶ後援会　〒116-0003　東京都荒川区南千住６－４７－３－２０２　mail：　info@hanazawaakinobu.com